

栃木県及び宇都宮市の防災訓練に参加

宇都宮国道事務所は、8月24日（土）に行われた「宇都宮市総合防災訓練」及び、9月1日（日）に行われた「栃木県・足利市総合防災訓練」に参加しました。

『平成25年度 宇都宮市総合防災訓練』は、宇都宮市鑑山町の清原中学校で開催されました。9時の想定地震発生と同時に「地震のとき自分の身を守る訓練」でスタートし、関係機関の各種訓練を行い、最後の「高所救出訓練」では、校舎の屋上から被災者をヘリコプターで救出して全ての訓練を終了しました。



宇都宮国道事務所は、「震災救出・障害物除去連携訓練」で、陸上自衛隊・日赤栃木・JKC災害救助犬育成訓練所・宇都宮建設業協会と共に、関係者が連携して道路啓開訓練を行いました。訓練会場を道路に見立てて白線を引き、その道路を倒壊した建物が塞ぎ、通行不能の状況を作りました。訓練は、通行不能箇所の発見・通報から負傷者の搜索・救出・救命を行い、倒壊建物の撤去、道路の安全確認、開放と一連の作業を滞りなく行いました。その際、夜間の道路啓開も想定し、当事務所の照明車も参加し、家屋建物箇所を照らしました。

当事務所は、このような実働訓練に初めて参加しましたが、関係機関との連携作業を行い、災害発生時に於ける早期の道路啓開に向け、貴重な経験となりました。

また、防災展示ゾーンでは、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）のパネルを中心にパネル展を開催しました。パネル展には、多数の方々にご来場頂き、地震や津波の恐ろしさを再認識して頂きました。



そして、『平成25年度栃木県・足利市総合防災訓練』は、足利市内の渡良瀬川河川敷にある渡良瀬運動場で行われました。栃木県知事が統監を努め、約100の機関・団体が参加し、大規模に実施されました。災害対策本部設置訓練から災害発生初期における訓練、応急救出救助・消火訓練、応急復旧訓練が順次実施され、栃木県や茨城県のヘリコプターによる救出や赤十字本社の飛行機による医薬品の投下など広域な参加もあり、多くの地域住民の方々が訓練を見守っていました。



多くの地域の方々が見学



災害対策本部車

当事務所は、展示エリアで宇都宮市総合防災訓練と同様なパネル展を開催しました。その他に災害対策本部車を展示し、車両内部を公開し、多くの方々のご来場を頂きました。

国土交通省関東地方整備局としては、渡良瀬河川事務所がパネル展、照明車・ポンプ車を隣接して展示し、道路・河川・砂防など幅広く国土防災に携わっている国土交通省を紹介しました。

来年以降も引き続き訓練に参加し、県・市と共に地域住民・県民の方々と一体となって、防災意識の高揚や関係機関との連携に努め、防災・減災の一翼を担って参ります。

展示エリア遠景

パネル展示テント

災害対策本部車



パネル展示テント全景



パネル展示テント内